NTJU News

発行所：ヌヴォトン テクノロジージャパン労働組合
住　所：京都府長岡京市神足焼町1番地
発行人：山本　明広　　編集人：経営政策部

2022-No.11
2023年 3月17日

2023年4月1日付 ファンドリー＆OSAT事業推進部の組織変更について

この度、会社側より「2023年4月1日付　ファンドリー＆ＯＳＡＴ事業推進部の組織変更について」の申し入れを受けました。諮問内容および現時点でのヌヴォトンテクノロジージャパン労働組合（以下、NTJ労組）のスタンスを報告します。

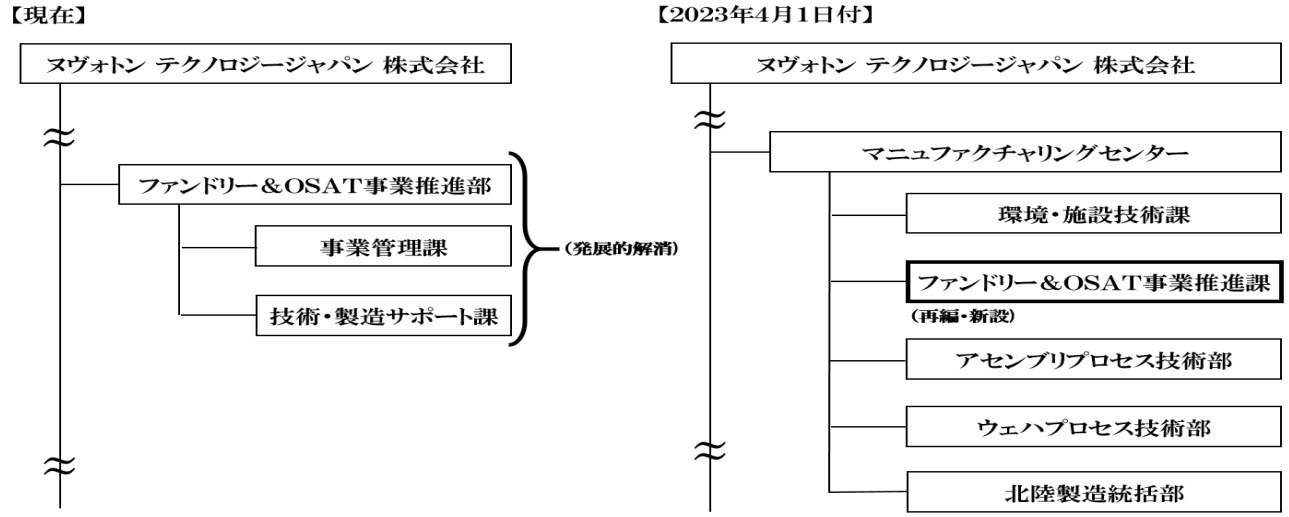
～ 申し入れの要旨 ～

1.　背景および主旨

現在、ファンドリー＆ＯＳＡＴ事業推進部で推進している、北陸工場を活用した製造受託ビジネスにおきましては、昨今の半導体需要増による生産キャパシティが逼迫な状況の中、各ビジネスグループを中心に推進している半導体ソリューション事業の強化と生産枠を集中すべく、2023年度より段階的に製造受託ビジネスの事業終息を進めてまいります。

上記に伴い、現組織「ファンドリー＆ＯＳＡＴ事業推進部」を発展的に解消し、製造受託ビジネスで継続する案件のサービス提供と、事業終息を推進する為、適正規模の体制に再編した新組織「ファンドリー＆ＯＳＡＴ事業推進課」をマニュファクチャリングセンター傘下に新設いたします。

2.　体制図



3.　実施日　２０２３年４月１日

NTJ労組のスタンス

今回の組織変更は、中長期的な半導体需要増に対応するため、製造受託ビジネスを終息し半導体ソリューション事業強化と生産枠確保に集中し、販売の最大化および事業拡大を目指すための施策と理解しました。

労働組合としても、構造的な供給課題を解決するための取組は販売拡大につながることであり、また顧客との信頼関係を深めるチャンスでもあると考えます。しかしながら、製造受託ビジネスの事業終息に向けては、お客様にご迷惑をお掛けすることがないよう丁寧に推進することも重要であると考えます。本施策の目的を達成するためには、組織変更だけではなく職場視点で徹底して論議したうえで、想定される課題に対して先手を打つことが重要と考えますので、職場からの課題提起・意見提起をよろしくお願いします。

今後のスケジュール

2月22日	3月17日～24日	3月下旬	3月下旬	4月1日
申し入れ	職 場 会	機関会議確認	労組回答	新組織発足

2023年4月1日付
品質＆ロジスティクスセンターの組織変更について

この度、会社側より「2023年4月1日付　品質＆ロジスティクスセンターの組織変更について」の申し入れを受けました。諮問内容および現時点でのヌヴォトンテクノロジージャパン労働組合（以下、NTJ労組）のスタンスを報告します。

～ 申し入れの要旨 ～

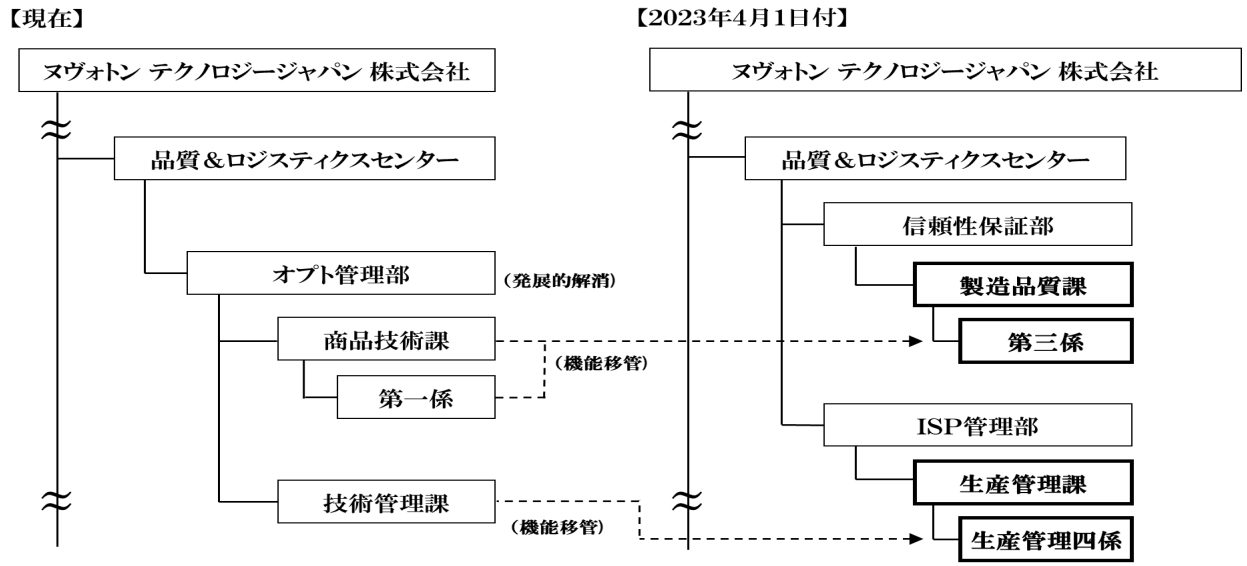
1. 背景および主旨

品質＆ロジスティクスセンター傘下にあります「オプト管理部」は旧鹿児島工場閉鎖から活動拠点を長岡京に移管して以来、一貫してオプト商品の事業終息に向けた業務活動に取り組んで参りました。

現在、概ね計画通りに商品の生産終息を推進できており、２０２３年度より段階的にオプト事業を終息いたします。今後の小規模生産における既存業務については、オプト商品における委託先管理機能を「信頼性保証部　製造品質課」に、また生産管理機能を「ＩＳＰ管理部　生産管理課」へとそれぞれ機能移管し、業務効率化と人材の有効活用を図ってまいります。

これに伴い、「オプト管理部」を発展的に解消いたします。

2. 体制図



3. 実施日　２０２３年４月１日

NTJ労組のスタンス

今回の組織変更は、旧鹿児島工場閉鎖以来取り組んできたオプト商品の事業終息に向けた業務活動の中で、作り溜め生産終息に伴う施策であると理解しました。

労働組合としても、事業終息に向けた現段階において、必要な既存業務を維持継続しながらも、終息後の業務効率化、人材の有効活用に先手を打って対応していくことが必要であると考えます。しかしながら、生産終了後の品質対応や販売の継続および、他業務への段階的移行を円滑に推進するためには、想定される課題に対して先手を打つことが重要と考えますので、職場からの課題提起・意見提起をよろしくお願いします。

今後のスケジュール

3月9日	3月17日～24日	3月下旬	3月下旬	4月1日
申し入れ	職 場 会	機関会議確認	労組回答	新組織発足